

# 行動する 青年部・女性部

## 「ふくさげ祭り」で 街を元気に！

### 石川県美川商工会女性部

白山市美川地区は、霊峰白山から流

れ出る手取川が日本海に注ぐ河口にあ  
ります。江戸時代は北前船が寄港する

本吉港を擁して廻船業で賑わい、明治

に入ってから約1年足らずではあり

ますが、石川県庁が置かれるほどの大

きな町でした。

しかし近年では、町中にあった繊維

会社の閉鎖や郊外への大型店進出など

で、商店街を利用する人が激減しまし

た。加えて事業主の高齢化や後継者不

足などによって廃業する店舗が後を絶

たず、日中でも歩いている人が少ない

寂しい商店街になっています。

### つるし飾りによる 商店街の活性化を提案

こうした現状を何とかしようと、商

工会女性部の濱上美知子部長が考えた

のが、商店街での「つるし飾り」です。

つるし飾りは、子どもの成長を願って

母や祖母が着物の端切れなどでつくっ

た小物を輪に吊るす飾り物です。美川

は仏壇や刺繍などの手工芸品づくりが

盛んな町なので、この伝統を生かして

つくったつるし飾りを店先に飾れば、

それを見に来る人で商店街が活気つく

のではないかと考えました。

平成23年5月、地元で手芸教室を主

宰している講師に指導を依頼して、女

性部員と美川地区のボランティアで、

つるし飾りづくりをスタートさせまし

た。毎週火曜日と木曜日の午後7時半

から9時半まで講習会を開催、材料な

どはすべて商工会から支給して、飾り

部品をつくり溜めていきました。

伝統的な飾りだけでなく、美川にち

なんだ飾りも考案しました。毎年5月

に開かれる地域最大のイベント「天下

の奇祭・おかえり祭り」の神輿の担ぎ

手を模した「おかえり太郎」、特産品

であるふぐの糠漬・粕漬を象徴する

「ふぐ」、そして、本州南限のサケの

遡上とサーモンフィッシングが楽しめ

る手取川にちなんで「サケ」です。

みんなが集まると手も口もよく動

き、「楽しいねえ」「ここに来てみんな

の顔を見てみると癒されるわ」と、和

気あいの雰囲気で作成活動をして

います。

平成24年3月16、17日の2日間、「第

1回白山美川ふくさげ祭り」を開催し

ました。ふぐ、は幸福の福と特産品

のふぐを、さげは手取川のサケと

吊り下げるにかけています。会場を4

カ所に分散し、来場者の回遊性を高め



つるし飾りを施した店舗

て町中が賑わうようにしました。

また、体験コーナーも設け、見るだけでなくつくる楽しさも感じていただける参加型イベントにしました。祭り当日は、2日間ともみぞれ混じりの荒天にもかかわらず、2000人以上の来場者で賑わいました。「こんなに大勢の人が町中を歩いているのはおかえり祭り以来やねえ」と、地元の人々が驚き喜んでくれました。私たちも「寝る間も惜しんでつくった甲斐がある

ったね」とみんなで喜びを分かち合いました。

平成24年度は新たに地区外からもボランティアを募り、現在は金沢市や富山県の方も含めて総勢約40人となっています。

### ふくさげ弁当を開発 2日で300食が完売

ふくさげ祭りの来場者から、「美川で美味しいランチのお店を教えてください」という声をたくさん聞きました。

「それなら女性部でお弁当をつくって販売したらどうか」ということになり、美川の食材にこだわった「ふくさげ弁当」を開発・販売することになりました。

石川県商工会連合会から勧められた、若手後継者等経営力向上支援事業補助金を活用し、食育インストラク



地元の味を詰め込んだふくさげ弁当

ターを講師に招き、レシビづくりに取り組みました。6回の打ち合わせや試食会を重ね、「ふくさげ弁当」が完成。ふぐの顔を模したおにぎり、いなり寿司、豆腐ナゲット、ふぐの卵巣の糠漬を混ぜ込んだコロッケ、油揚げとキャベツの炒め物、豆乳ケーキ、手取川のサケの醤油糍漬焼などを竹皮で編んだ弁当箱に詰めました。ふぐの粕漬入りお吸い物を付けて800円です。

こうしてつくったふくさげ弁当を今年3月のふくさげ祭りで販売したところ、1日150食、2日間で300食を完売。アンケートでは、ほとんどの方から「美味しかった」との感想をい

ただきました。来年のふくさげ祭りでは、各飲食店が地区内産品を食材とした祭り限定メニューを販売していただけるように働きかけていきたいと思っています。

### 商店街の店舗で売上伸長

今年のふくさげ祭りは両日とも暖かい好天に恵まれ、約3200人の来場者があり、前年を大幅に上回る賑わいになりました。商店街の味噌屋では特製甘酒のふるまいイベントを開催、ふぐ糠漬店はレトロな店舗での飾りつけで来場者を引き入れて、それぞれ売上を伸ばしました。菓子店では新製台「ふぐどら」を開発して即日完売させるなど、営業面でも効果を上げることができました。

今年度は、展示用つるし飾りを追加で80個を目標につくっています。併せて、販売用のつるし飾りの開発も行っています。美川らしさをアピールできると、こだわったつるし飾りをつくりたいと思っています。来年のふくさげ祭りは3月22、23日の2日間に開催します。みなさまのご来場をお待ちしています。



メイン会場の大正浪漫館。美川ならではのサケやふぐのつるし飾りも